

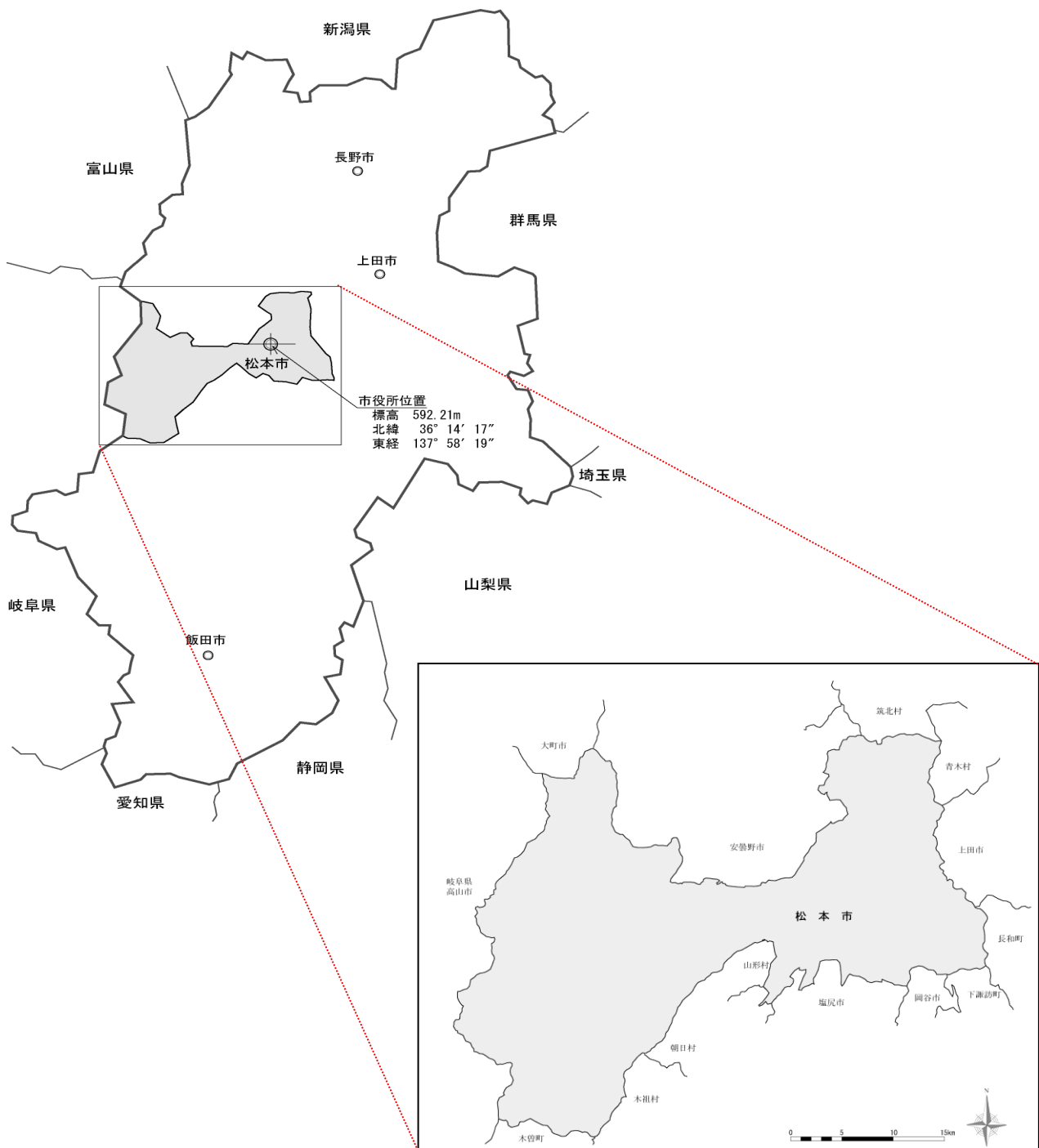
第2章 松本市の概要

第2章 松本市の概要

1 位置・面積

本市は、長野県のほぼ中央から西部に位置（市役所：北緯36度14分17秒、東経137度58分19秒）し、北は大町市、安曇野市、東筑摩郡筑北村に、東は上田市、小県郡青木村、長和町に、南は塩尻市、岡谷市、諏訪郡下諏訪町、東筑摩郡朝日村、山形村、木曽郡木曽町、木祖村に、西は岐阜県高山市に接しています。市役所の標高は、592.21メートルです。

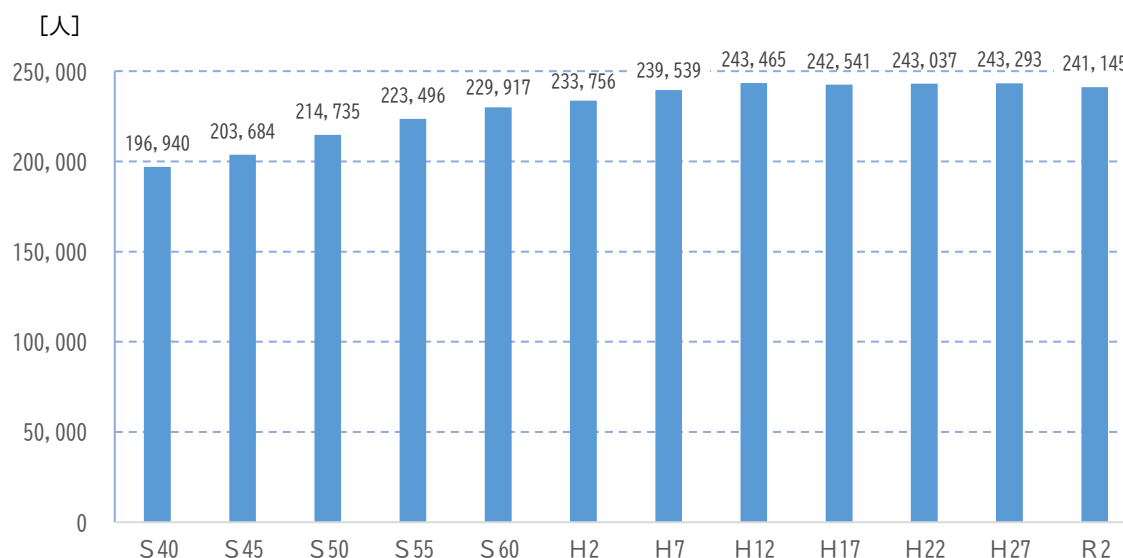
市域は、東西52.2キロメートル、南北41.3キロメートル、面積は978.47平方キロメートルで、県内で最も広い面積を有しています。



2 人口

(1) 現状

図2-1に示すとおり、本市の人口は平成12年(2000年)の国勢調査までは増加傾向にありましたが、その後はほぼ横ばいとなり、近年では減少傾向が見られます。



合併地区を含む。

資料：国勢調査

図2-1 本市の人口の推移

(2) 今後の推計

本市における今後の人口(本計画における人口推計)は、図2-2のように減少していくと推計されます。

これまで松本市一般廃棄物処理計画(平成30年度(2018年度)~令和9年度(2027年度)版)において推計人口を算出するに当たって使用していた「超少子高齢型人口減少社会における松本市の人口推計」は、松本市総合計画の策定に当たり、「松本市人口ビジョン」として改訂されました。

しかしながら、国勢調査を基準に行っている「松本市人口ビジョン」の人口推計は、住民基本台帳に登録されている人口の実績を上回っています。

本計画で将来のごみ量の算出に「松本市人口ビジョン」の人口推計を使用した場合、ごみの減量を目指す計画の理念と反し、達成が容易な目標となってしまうことから、住民基本台帳の令和4年10月1日付け人口実績を基に、令和5年度以降、「松本市人口ビジョン」の人口推計と同じ傾きで推移していくものとして、改めて推計人口を算出しています。

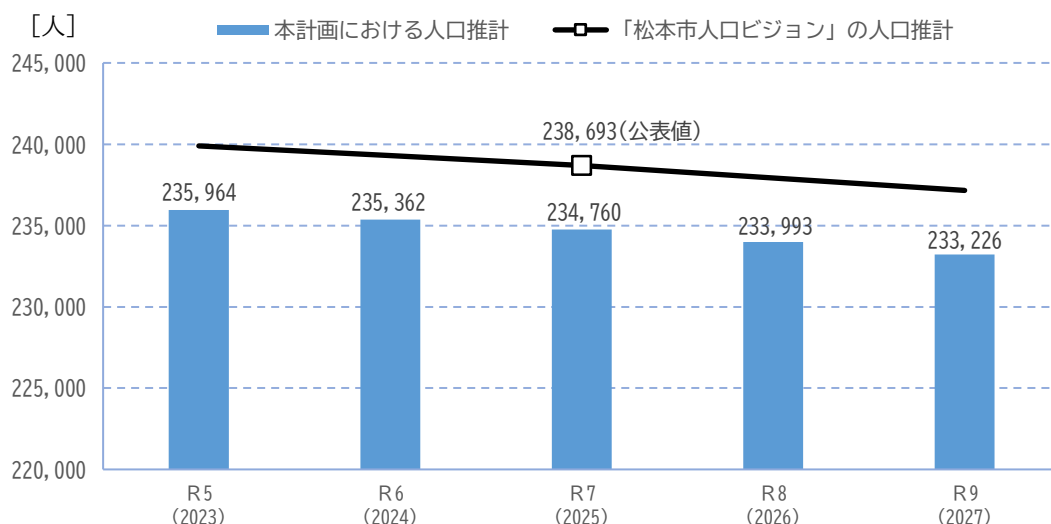


図 2 - 2 人口推計

※ 松本市人口ビジョンの人口推計の公表値は5年ごととなるため、公表されている令和7年（2025年）のみ数値を記載しています。

3 産業

表 2 - 1 に示すとおり、就業者数は、平成 7 年（1995 年）をピークに減少しています。

就業者数を産業部門別に見ると、第一次産業 6,061 人（就業者数の 5.3 パーセント）、第二次産業 26,923 人（同 23.3 パーセント）、第三次産業 82,328 人（同 71.4 パーセント）となっています。

図 2 - 3 に示すとおり、就業者数の構成割合を平成 27 年と比べると、第一次産業及び第二次産業はそれぞれ 0.5 ポイント、0.9 ポイント低下し、第三次産業は 1.4 ポイント上昇しました。

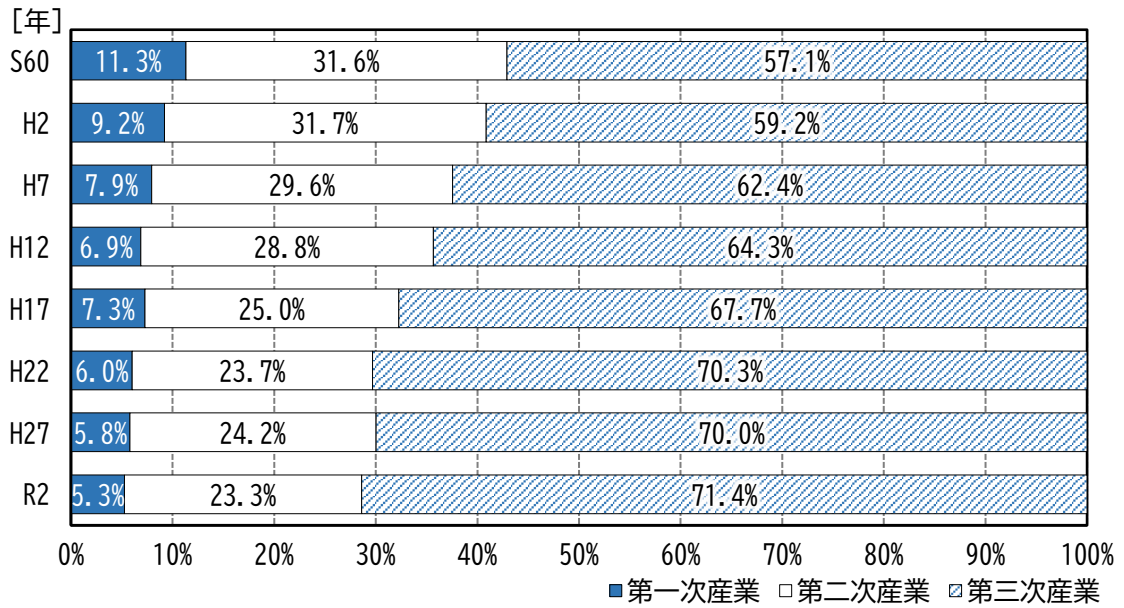
表 2 - 1 産業別就業者数の推移

単位：人

区 分	S60 年	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年	H27 年	R2 年
就業人口計	119,582	124,109	130,257	129,867	124,631	119,131	117,218	115,312
第一次産業	13,525	11,405	10,342	8,940	9,086	7,191	6,794	6,061
第二次産業	37,774	39,292	38,578	37,393	31,126	28,177	28,388	26,923
第三次産業	68,283	73,412	81,337	83,534	84,419	83,763	82,036	82,328

各年 10 月 1 日現在、合併地区を含む。

資料：国勢調査



各年10月1日現在、合併地区を含む。

資料：国勢調査

図2-3 産業別就業者割合の推移

(1) 工業

表2-2に示すとおり、事業所数は平成28年以降、減少傾向にありましたが、令和2年からは増加しています。

従業員数は、減少・増加を繰り返しています。

製品出荷額は、増加傾向にありましたが、令和2年には減少しています。

情報、食料及び電子の3分類で、製造品出荷額等の半分を占めています。

表2-2 工業関連実績値の推移

区分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	
事業所数(箇所) ^{※1}	349	375	318	310	301	298	317	414	
従業員数(人) ^{※1}	13,825	12,588	13,341	13,811	14,604	13,682	12,977	13,409	
製品出荷額(万円) ^{※2}	48,387,158	48,935,999	50,642,883	50,263,854	58,104,882	58,262,573	51,928,496	56,099,131	
(内訳)	情報	1,552,201	15,896,214	17,741,356	17,544,525	25,780,325	27,858,173	22,364,627	17,694,185
	食料	5,846,640	5,794,126	5,958,545	6,008,353	6,072,202	6,174,271	5,505,259	6,167,089
	電子	3,318,465	3,402,890	3,719,028	3,922,099	4,322,115	3,620,205	4,431,330	4,949,669
	その他	23,669,852	23,842,769	23,223,954	22,788,877	21,930,240	20,609,924	19,627,280	27,288,188

※1 各翌年度6月1日現在(合併地区含む。) ※2 各年12月31日現在(合併地区含まない。)

H24~R1年は従業員4人以上の事業所、R2~R3年は全事業所(個人経営を含まない。)

資料：工業統計調査(H24-R1)、経済センサス-活動調査(H27、R2)、経済構造実態調査(R3)

(2) 商業

本市は、「商都松本」と呼ばれ中信地域の基幹都市として、商業が発展してきました。

表２－３に示すとおり、近年、事業所数、従業者数、年間商品販売額は減少傾向が続いていましたが、平成２６年（２０１４年）から平成２８年（２０１６年）に掛けては、増加に転じました。

表２－３ 商業関連実績値の推移

区 分	H19年	H24年	H26年	H28年	R3年
事業所数（箇所）	3,538	2,589	2,500	2,712	2,699
卸売業計	1,044	840	814	893	881
小売業計	2,494	1,749	1,686	1,819	1,818
従業者数（人）	26,993	19,348	19,539	22,000	22,479
卸売業計	10,170	7,512	6,948	8,020	8,116
小売業計	16,823	11,836	12,591	13,980	14,363
年間商品販売額（万円）	1,295,502	985,769	892,335	1,061,823	1,013,713
卸売業計	962,642	760,796	609,033	767,176	737,322
小売業計	332,860	224,973	283,302	294,648	276,391

各年６月１日現在（H26年のみ７月１日現在）（合併地区含む。）

資料：商業統計調査（H19、26）、経済センサス-活動調査（H24、28、R3）

(3) 農業

表２－４に示すとおり、農業就業者は、平成１７年（２００５年）以降、減少が続いており、令和２年（２０２０年）までの１５年間で約５５パーセント減少しました。一方、７５歳以上の割合は、９．７ポイント増加しています。

今後も農業就業者の減少と高齢化が考えられます。

表２－４ 農業就業者人口の推移

単位：人

区 分	H17年	H22年	H27年	R2年
就業人口合計	9,484	7,798	6,574	4,246
75歳以上	2,533	2,503	2,184	1,547
75歳以上割合	26.7%	32.1%	33.2%	36.4%

各年２月１日現在。合併地区を含む。

資料：農林業センサス

表 2 - 5 耕地面積の推移

単位:ha

区 分	H17 年	H22 年	H27 年	R2 年
総耕地面積 (計)	7,133	6,714	6,172	5,940
経営耕地面積	6,315	5,924	5,437	5,940
耕作放棄地面積	818	790	735	— ※1

各年 2 月 1 日現在。合併地区を含む。

※ 1 耕作放棄地面積は令和 2 年の調査対象外

資料：農林業センサス

(4) 観光

表 2 - 6 に示すとおり、本市への観光利用者数は、令和元年（2019 年）まではほぼ横ばいとなっており、令和 2 年（2020 年）及び令和 3 年（2021 年）は、新型コロナウイルス感染症の流行による行動制限の影響により一時的に減少しましたが、令和 4 年（2022 年）は回復傾向が見られます。

本市の観光資源は、松本城や旧開智学校などの市街地から上高地や美ヶ原高原などの山岳地域まで、幅広い範囲に様々な種類があります。その中でも高原やスキー場、温泉といった恵まれた自然環境を活用した観光資源が多く、本市の大きな財産となっています。山岳観光都市として発展していくためにも、自然環境に配慮した観光への取組みを今まで同様に進めます。

表 2 - 6 観光利用者数の推移

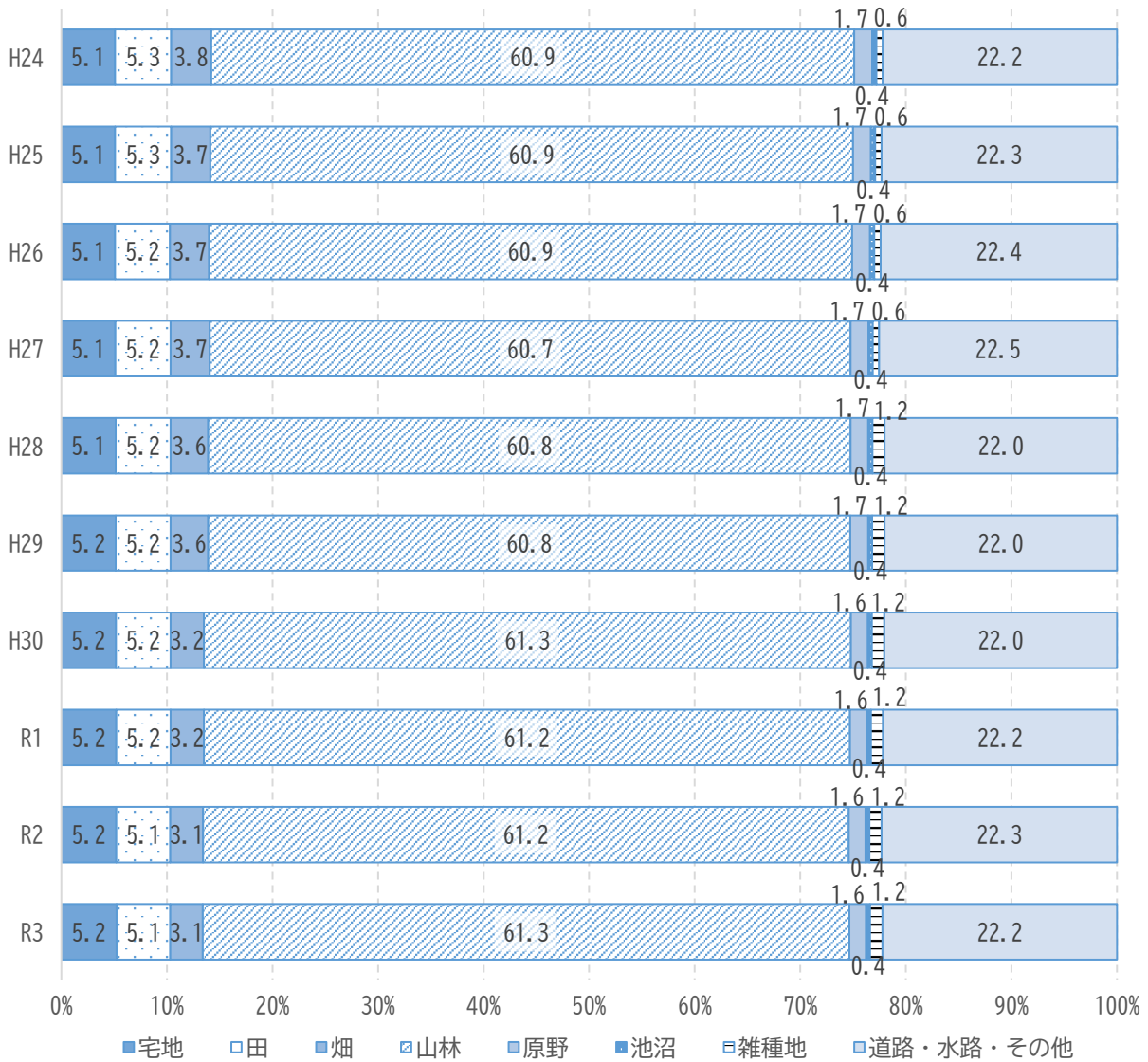
単位：人

	H28 年	H29 年	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年
合計観光利用者数	5,115,958	5,122,699	5,074,507	4,974,149	2,546,241	2,628,196	3,771,482
松本城	989,258	921,199	887,707	912,449	377,901	384,796	664,482
美ヶ原温泉	554,400	534,600	525,700	515,700	326,900	328,000	404,300
扉温泉	101,500	103,900	103,100	94,400	81,700	79,700	81,500
美ヶ原高原	453,800	525,800	558,600	492,100	295,300	300,600	395,700
浅間温泉	658,000	644,300	632,000	596,000	350,200	410,000	544,800
美鈴湖	64,200	76,200	73,500	61,900	46,000	26,600	52,200
福寿草の里	35,900	53,100	49,900	47,500	13,340	15,500	17,800
奈川温泉	33,800	31,600	30,000	32,600	21,500	21,300	27,000
奈川高原	85,400	94,000	91,600	86,200	66,300	67,000	95,400
上高地	1,232,800	1,226,000	1,238,100	1,240,600	427,200	517,100	873,400
乗鞍高原	470,500	480,800	469,800	452,600	310,700	259,600	321,900
白骨温泉	244,200	231,000	219,500	241,300	137,300	113,400	165,700
梓川くだものと 道祖神の里	121,500	127,200	129,700	133,500	58,900	61,000	80,000
竜島温泉 せせらぎの湯	70,700	73,000	65,300	67,300	33,000	43,600	47,300

資料：松本市の統計

4 土地利用の状況

本市の地目別土地利用状況は、図2-4のとおりです。山林が約60パーセントを占め、宅地、田、畑はほぼ同じ割合となっています。



※ 保安林はその他に含む。

資料：松本市の統計

図2-4 地目別土地利用面積比率